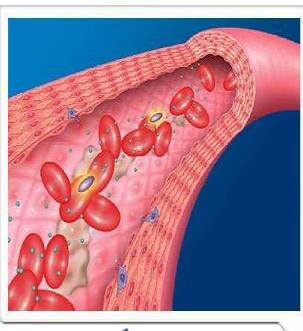


糖尿病と動脈硬化

糖尿病は血管の病気

糖尿病は放置すれば様々な臓器の血管に障害を引き起こします。太い血管が障害されると脳梗塞、心筋梗塞や足壊疽(あしえそ)が、細い血管が障害を受けると眼、腎臓、神経に糖尿病特有の障害が起こります。

大血管症



細小血管症

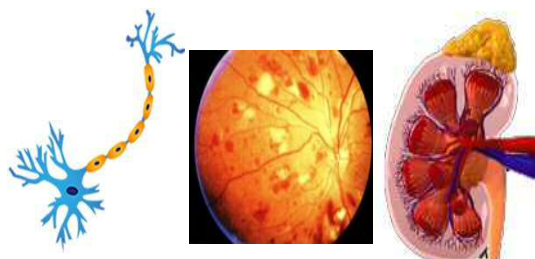


動脈硬化

細小血管障害・代謝障害

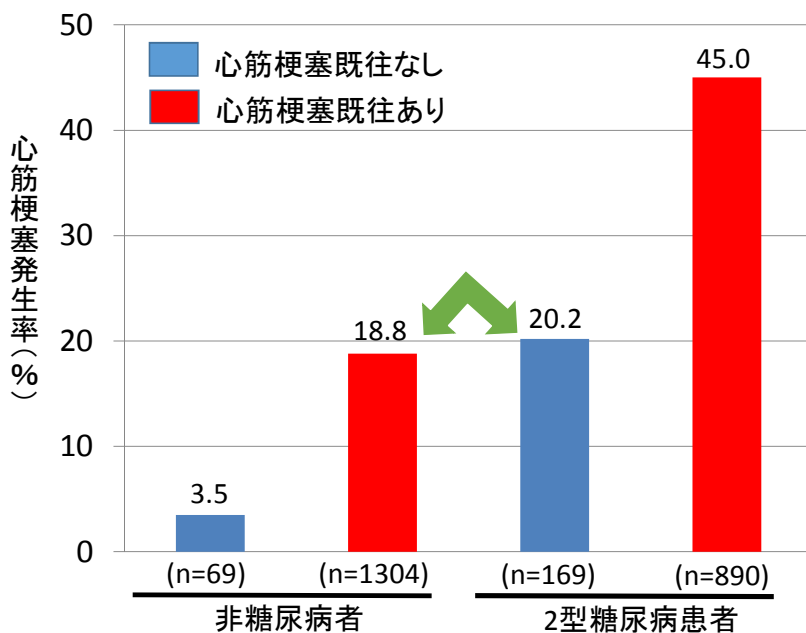


脳梗塞 心筋梗塞 壊疽



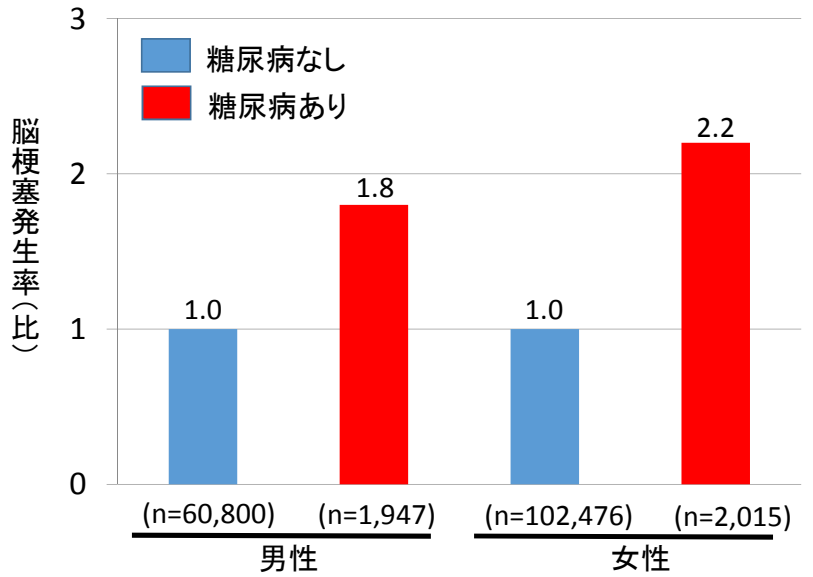
神経 眼 腎臓

糖尿病があることだけで心筋梗塞の発症の危険性が高いことがわかっています。フィンランドで行われたFINNISH研究が示す通り、糖尿病をもつ人が心筋梗塞を発症する確率と、心筋梗塞を発症したことがある人が再発する確率が同じである(↗)とのことです。



また、糖尿病があることだけで脳梗塞の発症の危険性が高いことがわかっています。

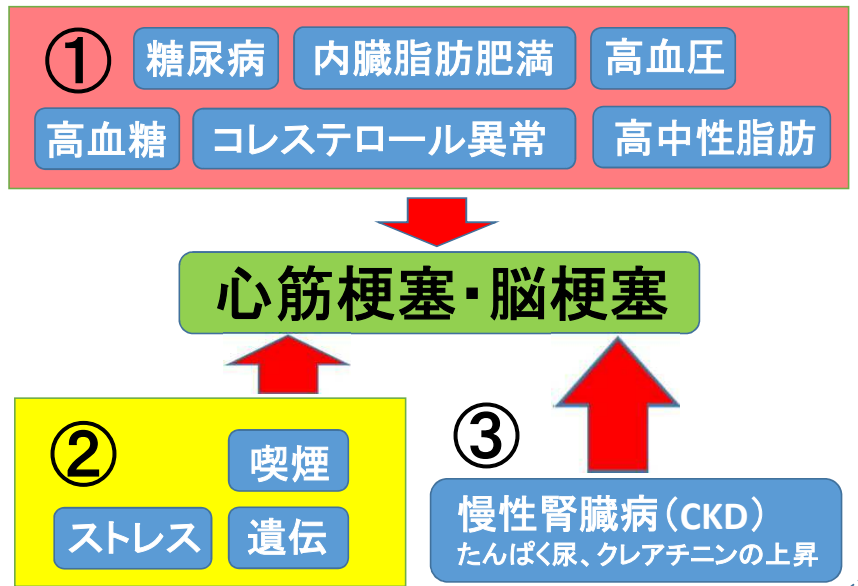
日本で行われた臨床研究が示す通り、糖尿病をもつ人が脳梗塞を発症する確率は、糖尿病を持たない人が脳梗塞を発症する確率の約2倍であることがわかっています。



Iso H, Imano H, et al ; Diabetologia; 47: 2137-2144: 2004

心筋梗塞や脳梗塞は、糖尿病だけでなく

- ①メタボリックシンドロームの肥満、高血圧、高血糖、脂質異常
- ②喫煙、ストレスなどの生活環境の問題や、遺伝的体質
- ③将来透析の危険性が高くなる慢性腎臓病(CKD)などが関与することが知られています。



心筋梗塞・脳梗塞にならないために、見直そう！自分の健康状態



- お医者さんで見直そう！
血圧 血糖 中性脂肪
コレステロール(LDL・HDL)
尿たんぱく クレアチニン



- 自分の生活を見直そう！
たばこ ストレス 運動不足
間食 野菜不足 脂ものの多い食事

